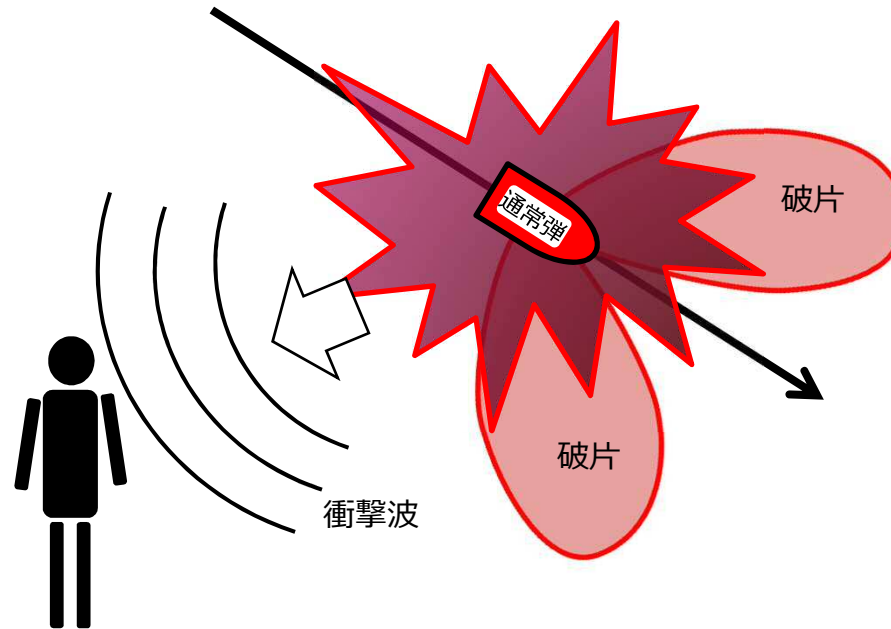


弾道ミサイル、どう行動する？（その①）

※これは海老名市独自の参考資料です。今後の状況により、変更することがあります。

備えるべきは、まず、
①爆風（衝撃波）
次いで
②破片（弾が破裂）
です。

基本的に爆風（衝撃波）は真上からは来ません。
ななめ上方か横方向です。
（つまり、立っている姿が一番危険です。）



★身を守る行動

屋外にいる場合

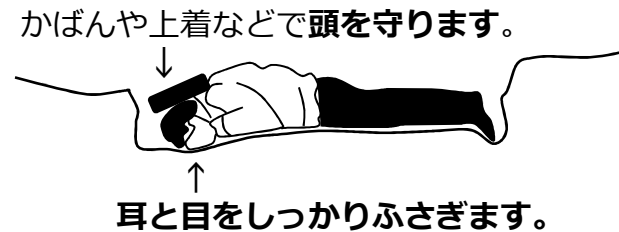
- できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
- 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

屋内にいる場合

- ガラス窓から離れるか、ガラス窓のない部屋に移動する。
（爆風が強烈なため、ガラスの破片で負傷します。）

伏せの基本姿勢：

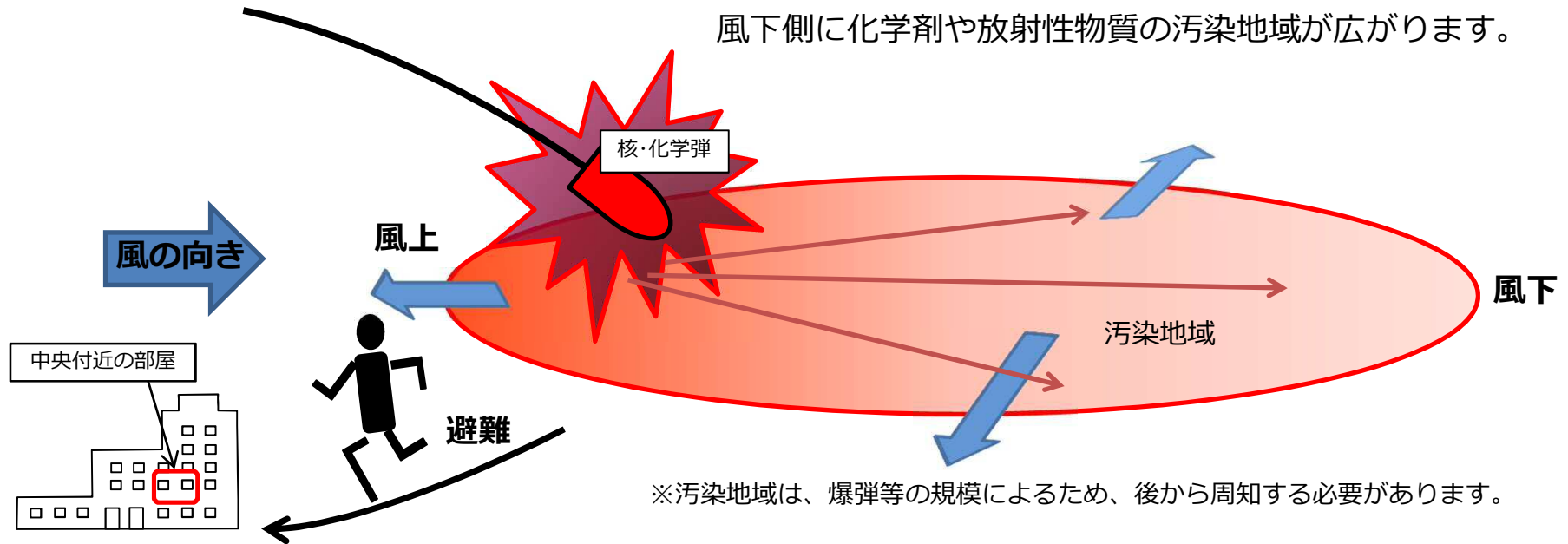
どんな小さなくぼみでも利用し、少しでも体を隠します。



弾道ミサイル、どう行動する？（その②）

※弾頭が「化学弾」や「核爆弾」だった場合

風下側に化学剤や放射性物質の汚染地域が広がります。



★身を守る行動

（すぐに弾頭の種類がわからない場合があるので、「その①」の行動をとり、着弾後「その②」の行動に移ります。）

屋外にいる場合

- できる限り早く汚染地域から離れ、風上にある建物（できればマンションなどのコンクリート製建物）に避難します。
- 自分が化学剤や放射性物質を浴びたと思うときは、汚染された衣服を脱いでビニール袋などに密閉します。そのビニール袋は人から離れた場所に置きます。皮膚についた場合は、すみやかに15分以上洗い流します。
- 建物をできるだけ密閉し、建物の**中央付近の部屋**で1時間以上待機し、国、県、市からの指示を待ちます。

屋内にいる場合（汚染地域内を含む。）

- ドアや窓を閉め、隙間などは目張りをして建物の**中央付近の部屋**で1時間以上待機し、国、県、市からの指示を待ちます。